

コミュニケーション・社会・ 幸せ

野沢和弘（毎日新聞論説委員）

難しいことを難しく書くのはやさしい

難しいことをやさしく書くのは難しい

「ステージ」 知的障害者のための新聞

- ・読者層は大人の知的障害者、働いている人が多い
- ・政治、経済、環境、科学、恋愛や性にも興味がある
- ・小学校3年生レベルの学力で理解できるように
- ・子ども扱いはしないで！

<背景>

90年代後半、社会福祉基礎構造改革

措置→契約 介護保険、支援費制度～自立支援法

自己選択・自己決定

選ぶために必要なこと・・・情報、体験、判断能力、交渉能力

スウェーデンなど北欧の本人主義と情報保障

ステージの編集

- ・編集委員 ①知的障害の本人 ②福祉職員・育成会職員
③新聞記者

- ・季刊発行（年4回）
- ・企画会議→原稿発注、取材→読みあわせ→書き直し
- ・ 1面 企画
- ・ 2～3面 ニュース
- ・ 4～5面 スポーツと文化
- ・ 6～7面 障害者や福祉の話題
- ・ 8面 やってみよう

基本ルール

- 長い文章はダメ
- 複合文はダメ
- 難しい漢字はダメ
- ひらがなだけでもダメ
- 二重否定はダメ
- 比喩はダメ
- 抽象的な語彙、専門的な語彙はダメ
- 省略はダメ

長い文はダメ

- 関越自動車道で起きた46人死傷の高速ツアーバス事故で、遺族や被害者のケアや手続き支援を目的に4月に発足した国土交通省の「公共交通事故被害者支援室」が当事者に接触せず、病院など関係機関とも連携を取っていないことが分かった。

<不可解な言葉>

- 46人死傷の高速ツアーバス事故
- 手続き支援
- 当事者に接触
- 関係機関

不可解さをやさしくする

- 高速ツアーバス（スピードが出るバス？）
- 高速道路を走って安い料金で旅行客を運ぶバス。死んだ人、けがをした人は計46人。
- 手続き支援
- どうすれば金銭的な保障を得られるか、治療などを受けられるかを教えて助けること。
- 当事者に接触（さわる？ 当事者って誰？）
- 被害者や家族(遺族)などに会う、話をする
- 関係機関
- 警察、消防・救急、バス会社、旅行代理店など

知的障害・発達障害の特性

- 比喻や婉曲的な言い方がわからない
- 「ネコの手も借りたいようだわ」
- 「あなたなんてうちの子ではありません」
- 文脈を読んだり、相手の気持ちを推測するのが苦手
- 空気を読み
- 「私はよい売人」
- 「以前には誰にも叱られなかったのに」

記事を「因数分解」する

- ・ 関越自動車道で起きた46人死傷の高速ツアーバス事故で、遺族や被害者のケアや手続き支援を目的に4月に発足した国土交通省の「公共交通事故被害者支援室」が当事者に接触せず病院など関係機関とも連携を取っていないことが分かった。



- ・ 関越自動車道で起きたバス事故
- ・ 46人が死傷した
- ・ 国土交通省の「公共交通事故被害者支援室」
- ・ 4月に発足したばかり
- ・ 遺族や被害者のケアや補償の手続きを手伝う
- ・ 病院や警察やバス会社に連絡していなかった

ステージ流に書くと

- ・ 関東自動車道で46人が死んだりケガをしたバス事故が起きた。
- ・ 国土交通省には「公共交通事故被害者支援室」が4月にできたばかりだ。
- ・ 交通事故の被害にあった人がちゃんと治療を受けたり、慰謝料や治療費などを受けられることを手伝えるためにできた。
- ・ ところが、その支援室の職員たちは、関東自動車道で起きた事故では被害者や家族に会っていなかった。
- ・ 病院や警察やバス会社とも連絡を取っていなかった。
- ・ これでは被害者を支援することなどできない。これじゃあ、意味がないよね。

難しい記事②

野田佳彦首相の肝いりで発足した政府の「デフレ脱却等政策立案」に向け、連休明けに議論を本格化させる。会議は、消費増税に与野党の理解を得る地ならしとともに、日銀への金融緩和圧力を強める舞台装置の意味合いがある。ただ、需要喚起などでどこまで効果を発揮するかは見通せない。

- 肝いり
はらわたを煎る→心を焦がす→神経を使う
双方の間を取りもって心を碎き世話を焼くこと
- デフレ
- 消費増税
- 与野党の理解
- 地ならし
土台をととのえる→ちゃんと着地できるように足場を固めておく
- 金融緩和圧力
- 舞台装置の意味合い
思うようにするため環境や雰囲気をつくる
- 需要喚起

デフレ

- ・デフレとは、ずっと物価(ものの値段)が下がり続けること。ハンバーガーや牛丼などはどんどん安くなっている。これは、いいことのはずだが、なぜ、デフレは悪いのだろうか。
- ・物価がどんどん下がっていくと、人々は「もっと安くなるだろう」と買い物をさきのばしする。すると、品物は売れない。品物が売れないと、売る方は値段を下げて買ってもらおうとする。それがまた物価の下落と、買い物の先のばしにつながる。もがけばもがくほど、値段も売れ行きも落ちていく。だからデフレは怖くて、「あり地獄」のようだと言われる。

消費増税

- 日本は世界でもっとも高齢化が進んでいる。年金や医療や介護にお金がかかる。毎年1兆円ずつ社会保障費は増えている。
- 経済成長はこの20年くらいあまりしていない。税収も伸びない。だから、国債という借金でなんとか毎年予算を組んでいる。
- 90兆円の予算なのに、税収は36兆円くらいしかない。半分以上は借金でやりくりしている。
- その借金をはらうのは子どもや孫たち。
- やはり税を上げて今のうちに借金を返さないようにしないと、子や孫にもうしわけない。日本は信用できないと世界から見られて国債の値段が暴落すると金利が上がって、金利を払うだけでも毎年何兆円も増えてしまう。
- 日本の消費税は5%。ヨーロッパなどは20%前後。
- 広く薄く集められる消費税を少し上げようと政府は考えている。

与野党の理解

- 野田さんは「消費税を上げる」を公約にして民主党代表選に勝った。しかし、民主党の中には消費増税に反対している人たちが大勢いる。
- 自民党も前の参院選では消費税を10%にすることを公約にしていた。しかし、野田政権の消費増税には賛成しない。
- 自民党が与党だったときはあれもこれも民主党は反対して足を引っ張られた。それなのに自分たちが政権取ったら協力しろと言われたら誰だっておもしろくない。
- 自民党の中にも消費増税や社会保障改革を早くしなければと思っている人もいるが、早く解散して落選している人を救わなければという意見も強い。
- 世論調査では消費税を上げるのに反対の人が多い。選挙にでもなったら消費税アップを言う人は落ちてしまうかもしれない。

金融緩和 需要喚起

- デフレや不況から抜け出すためには、国民がもっと買い物をするようになり、企業も設備投資をして魅力のある商品を出す必要がある。
- そのために銀行にお金をもっと回して企業に貸し出せるようにする政策が「金融緩和」。そうすれば企業はものをつくりやすくなる。
- しかし、今の不況は国民が満ち足りてほしい買い物がなくなったので、買わなくなったのが原因とも言われている。
- そうすると、いくら企業が新たな商品を出しても、国民が買い物をしようという気持ちを起こす（需要喚起）ことができない。

膨大な情報が凝縮されている

野田佳彦首相の肝いりで発足した政府の「デフレ脱却等政策立案」に向け、連休明けに議論を本格化させる。会議は、消費増税に与野党の理解を得る地ならしとともに、日銀への金融緩和圧力を強める舞台装置の意味合いがある。ただ、需要喚起などでどこまで効果を発揮するかは見通せない。



- 前提と背景 ……デフレ、消費増税、金融緩和、需要喚起
- 不可解な字 ……肝いり、地ならし、舞台装置

ひらがなはわかりやすいか

- 大阪市の橋下徹市長は2日、北海道電力泊原発3号機が5日に停止し、全国で稼働する原発がゼロになることについて初めて言及し「原発が再稼働できなかった場合の対策を国が講じていないのは重大な国家危機だ」と政府を批判した。

- おおさか市の橋下徹しちょうは2日、ほっかいどうでんりよくとまりげんぱつ3ごうきが5日にていしし、ぜんこくでかどうするげんぱつがゼロになることについてはじめてげんきゅうし…

- 言及 → 言う
- 講じる → とる
- 稼働 → うごく

二重否定はわからない

- 私は東京ドームに行きたくないわけではない。楽しくないとは言っていない。だから、どうしても行かないと言ってるわけじゃない。
- もう恋なんてしないなんて言わないよ絶対～

省略もわからない

- 甘く入ったスライダーを井口が右に運んだ。劇的なサヨナラ弾でロッチは黒星街道に終止符を打った。
- 遠藤からのクロスを頭で合わせ、ネットを揺らした。

もっと難しい文章①

- 本件各文書は原告が本件条例に基づき開示請求しているものであり、本件一部非開示決定については争訟が提起されることが予想されたのであるから……本件においては、右にみたとおり、本件各文書は既に廃棄されて現存しておらず、したがって、仮に本件訴訟において本件各一部非開示が取り消されたとしても被告らが本件各文書を開示することは不可能であるから、原告において本件各一部非開示の取り消しを求める法律上の利益はないといわざるを得ない。
- 本件9

情報開示請求訴訟

判決文

もっと難しい文章②

- 事業者は、消費者契約の条項を定めるに当たっては、消費者の権利義務その他の消費者契約の内容が消費者にとって明確かつ平易なものになるよう配慮するとともに、消費者契約の締結について勧誘をするに際しては、消費者の理解を深めるために、消費者の権利義務その他の消費者契約の内容についての必要な情報を提供するように努めなければならない。

消費者保護法

条文

難しい文章③

- 地方公共団体は、公営住宅法第二条第十五号に規定する公営住宅建替事業の施行に併せて当該公営住宅建替事業が施行される土地の区域において新たに公共公益施設又は公営住宅法第三十条第二項に規定する公共賃貸住宅以外の特定優良賃貸住宅若しくは高齢者向け優良賃貸住宅を整備することが地域における住宅に対する需要に応じた公的賃貸住宅等の供給及び良好な居住環境の形成のため必要と認められる場合には...事項を記載することができる。
- 公共3 住宅9
- 公営4
- 公益1

世にあふれる難しい文章

- 新聞記事、法律、判決文、政治家や官僚の国会答弁
- 取扱説明書、医薬品の使用上の注意、保険約款
- 看護師・介護福祉士試験の問題、運転免許試験の問題

- <わかりにくさの本質> = 専門性・難解さの鎧
- よくわからずに書いている
- どうせわからないだろうとバカにしている
- 本当は知られたくないことがある
- 相手のことを知らない、知ろうともしない
- 排除したい

文章はアート
アートは生きること

なぜ、人は表現するのか

われわれは国道の両端をおとなしい獣の群れのように歩いていった。化学薬品を空からまかれて枯れ崩れた広大な灌木林のよこを通ったが、月光を浴びてそれは凄愴な形相をおびていた。立ち枯れした木たちが数知れぬ蒼白な骨と見えた。どこまでもそれがつづくので私は何か古代の爬虫類の肋骨の林のなかを歩いているような気がした。これほど広大な面積にわたって自然の因果率の環を破壊してしまったからにはきっと何かの新しい災禍が起こるにちがいない。

開高健「光る闇」

光が撥ねていた。日の光が現場の木の梢、草の葉、土に当たっていた。何もかも輪郭がはっきりしていた。曖昧なものは一切なかった。いま、秋幸は空に高くのび梢を繁らせた一本の木だった。一本の草だった。いつも、日が当り、土方装束を身にまとい、地下足袋に足をつっ込んで働く秋幸の見るもの、耳にするものが、秋幸を洗った。

中上健二「枯れ木灘」

引き出しを開けるとノートやペンの間から小さな蛇が何匹も這いだした。這いだして私の腕から首をのぼり耳の中に入ってくる。入られて、飛び上がった。痛くはないのだが、外耳道に入り込んだ途端に蛇たちは液体に変わってそのまま奥へ流れ込む。冷たい。まだ入り込んでいない蛇を阻止しようとして首を強く左右に振った。

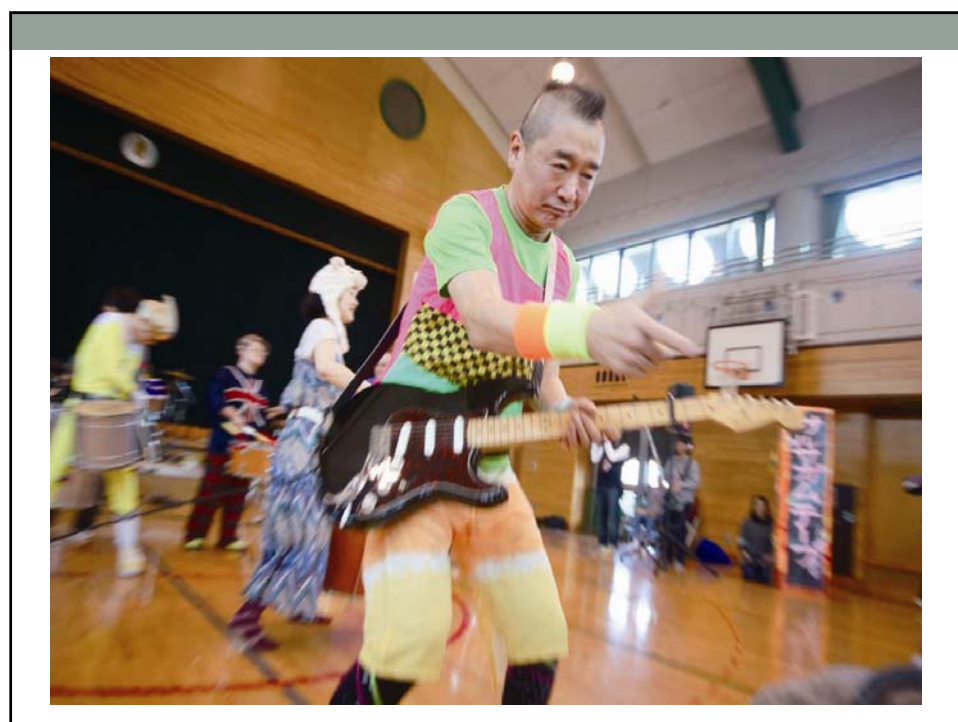
川上弘美「蛇を踏む」

それにしても、どうしてあんな気持になったのだろう？ いまはそれどころか、この部屋が不意に警察官たちではなく、もっとも親しい友人たちでいっぱいになったとしても、彼らに対して人間的な言葉を一言も見つけることができなかったろう。一瞬のうちにそれほどまでに彼の心は空虚になったのであろう。苦しい果てしない孤独と疎遠の暗い感情が不意にはっきりと彼の心にあらわれた。

ドストエフスキー「罪と罰」

あまりにも僕の課題が多すぎでした。施設での自分はすごく感動のドラマの中に過ぎなかったと僕は思っています。「入所施設では性的な個人の自己選択をどう指導してゆくんだ」ということを、かつて疑問に感じたことがありました。それを今回、僕が施設を出たことによっていい見本になったでしょう。僕は本当に自分のためにも、人のためにもいい実験材料になればいいと思います。

米田光春「もう施設には帰らない」





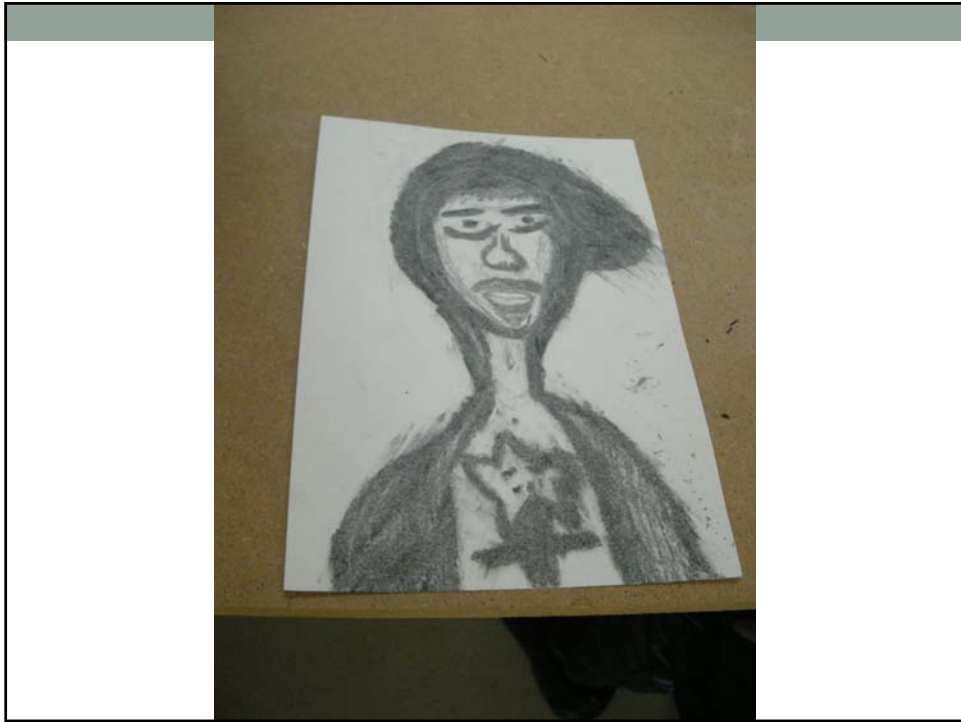
アール・ブリュット・ジャポネ展 2011年
 ヨーロッパ7か国巡回展 2012年
 ~







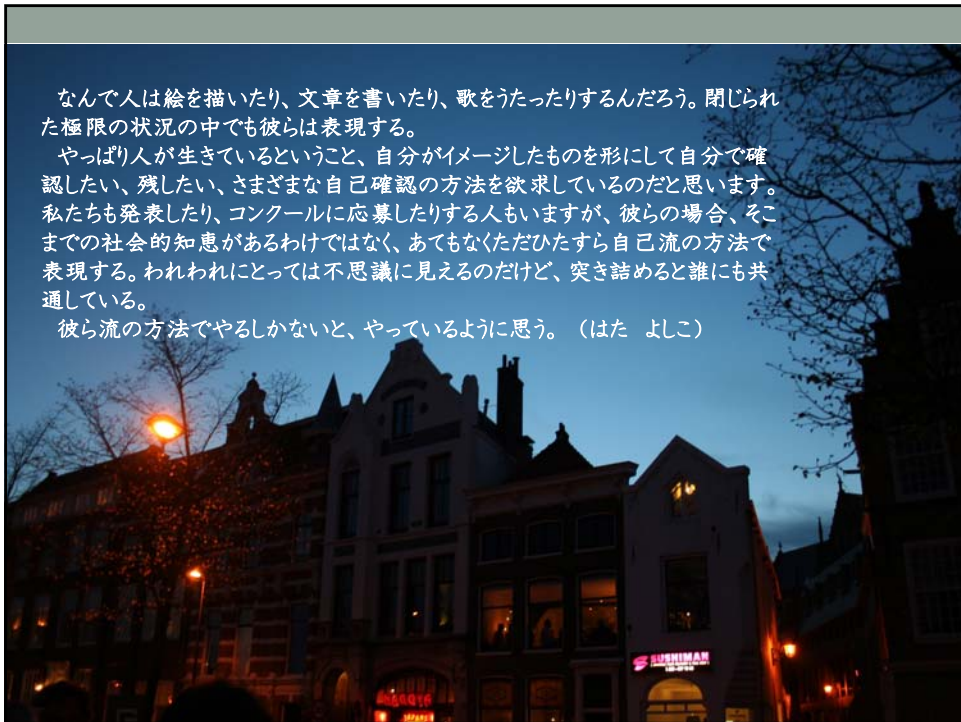




なんで人は絵を描いたり、文章を書いたり、歌をうたったりするんだろう。閉じられた極限の状況の中でも彼らは表現する。

やっぱり人が生きているということ、自分がイメージしたものを形にして自分で確認したい、残したい、さまざまな自己確認の方法を欲求しているのだと思います。私たちが発表したり、コンクールに応募したりする人もいますが、彼らの場合、そこまでの社会的知恵があるわけではなく、あてもなくただひたすら自己流の方法で表現する。われわれにとっては不思議に見えるのだけど、突き詰めると誰にも共通している。

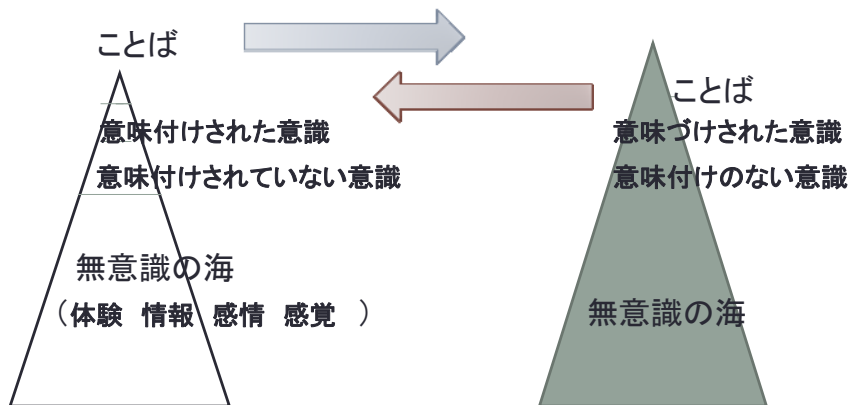
彼ら流の方法でやるしかないと、やっているように思う。(はた よしこ)



コミュニケーションとは何か
つながること、生きること

無意識の海にもぐる

コミュニケーション



言葉のない障害者から話を聞く

<白河育成園事件>

- 薬漬けにされて行動を抑制されていた自閉症の男性(27歳)。ぐったりして、よだれを垂らして寝ている。感情や思考をなくされ、視線も合わず、言葉も話せない。
- その男性から聞き取り調査をしたのは障害者施設に勤めていたKさんという男性。

Kさんがしたこと

- Kさんは、自閉症の男性とイスに座ったままじっと向かい合い、穏やかに微笑みながら目を見つめている。同じ姿勢で5時間近くもそうしている。男性の手を取り、肩を抱き、ほほとほほをくっつけるようにして、耳元で何かをささやいている。すると、表情のなかった男性の顔が赤らみ、うれしそうに少し笑った。

Kさんの話

- 「ごめんね、こんな施設に入れてしまって。もう少しで出られるようにしてあげるからね」と話していたのです。どんなに障害の重い人でも、こちらの言うことはわかるものです。彼らの思いをどうやって受け止められるか。どうすれば思いを引き出してあげられるのか。それが僕たちの仕事です。

とにかく障害者と私たち職員の間信頼関係がないとダメということです。彼らは生まれてからずっと抑圧されて生きてきた。がまんすることが人生なのです。欲求することを否定され、力でおさえられ、社会から隔離され、抜け道のない中でどうやって生きて行くかを学んできた。

「つらかったね」と共感してあげる。「あなたと僕は立場はちがうけれど、あなたの苦しみはわかる」。たとえわからなくても共感しようとするのです。それを繰り返しながら、信頼関係を築き、本音でしゃべってくれるのを待つのです。

自分が生まれたことでお母さんを苦しめている、自分がいなかったらお母さんはこんなにつらい目にあわなくてもすんだのではないか……

障害のある人はみんな、どこかでそんな思いを抱えている。生まれてごめんなさい、自分なんかいない方がいい。親に対して遠慮して、気持ちが崩れていく。暴れたり、自分を傷つけたりするのは精神的に破綻してしまうからなんです。

僕ら職員は、障害者のそうした傷にそってふれていく。彼らを抱きしめて、彼らの思いを抱きとめる。僕らと同じなんだと共感してもらう。

障害のない子だってそうじゃないですか。家庭内暴力をする子、親に反抗する子、みんなどこか親に遠慮してがまんしているうちに心が崩れてしまう。でも、彼らはいつか自分で乗り越えていく。

障害児はそれができず、それから何十年も傷を抱え込んだまま生きていくのです。10年も20年も苦しんでいるのです。

目が見えない、耳が聞こえない 福島智さんと



NY7番街の「alfred」で



私、盲ろう者でなかったら一番向いていると思う職業が二つあるんです



(野沢)
それは私が当ててみましょう。

(福島)どうぞ。

(野沢)
一つはジャーナリスト。
もう一つはお笑いタレント。

(福島)は、は、はっ。ジャーナリストは当たり。もう一つはね、経済ヤクザです。僕は気が弱いんだけど、生まれが神戸で山口組の地元。詐欺師のところがあるんですね。嫁はんが言うんです。「あなたは盲ろう者じゃなかったら、かわいそうなおじいさんをたらしこんで金を巻き上げる詐欺師になったんじゃないか」。いつまで話しとるねん。

(野沢)だんだん口調もヤクザみたいになってきた(笑)



(野沢)
ちょっとまじめな話をするとね。福島さんのコミュニケーション能力にすごく惹かれるんです。こちらが気づいていないところまで、ギュッと感覚が入ってきて捕まれる感じがする。自分の気づいていない部分です。

福島先生は耳も聞こえない、目も見えないけれど、これだけのコミュニケーション能力がある。うちの息子は耳も聞こえる、目も見える、飛び跳ねることもできる。だけど、話し言葉や文字ではコミュニケーションできないんです。福島さんとうちの息子はある意味ではすごく対局にある。うちの息子も言いたいことはいっぱいあると思うんです。私の方も彼に伝えたいことはいっぱいある。ちゃんと伝わる時もある。福島さんの指点字のようなものが知的や発達障害の人たちの世界にあれば、お互いの世界がもっと豊にわかりあえるようになると思っています。



福島さんの本を読んだときにコミュニケーションとは文脈だというようなことを言っていて、うちの息子も自閉症で文脈は大事だとその人の表情や文脈が大事だと言っていて、それもびっくりしたんです。

だって、相手の表情が見えないし、声のトーンもわからないし、どういう感情で言っているのか。私は通訳者の人に関心があって、微妙な行間やニュアンスや文脈を全部伝えているんですね



文脈は重要なのはその通りですが、文脈を理解しづらい人はいるわけですね。ふつうの人間は文脈がわかることを前提に話してしまう。文脈がわからない人がいるということがわかれば別の世界が開けてきて、別の言い方ができるはずなのに。言葉の上だけで表記されているものとは別に、非明示的な文脈という世界があってそこで人が峻別されている。それを取り払って、文脈が伝わるかどうかは別としてゼロから出発すれば案外可能性が広がるのではないかな。

ニューヨークは相手がどこの人かわからない、何語をしゃべるかわからない、どんな宗教を持っているかわからない。ほとんど文脈ゼロです。日本は逆にいろんな文脈を前提としてしまっている。まず相手が人間なのか地球人なのかどんな言語を使うのかという所から出発すればすごく幅のあるコミュニケーションができる。そうすれば知的障害は大したことではない。相手が地球人かどうか、日本人かどうかを考えればいい。



コミュニケーションより大事なものは何か。コミュニケーションとは手段に過ぎないんですよね。どんなに行っても目的にはなり得ない。目的は言葉じゃなくて、たとえば肩を触るとか、手を握るとか、ということでもいい。目を見つめ合うだけでもいいんです。そのコミュニケーション手段を通して達成される目的は、言葉によって達成される目的と変わらないんです。

僕たちは目的よりも手段にこだわっちゃう。知的障害のお子さんは効率という面から見れば劣るかもしれないけれど、手段で問題はあるかもしれないが、重要なのは手段ではなく目的の部分、つまり彼がうれしか悲しいかという感覚を大事にすること。それが重要なんだと思います。



(野沢) 感情のすごい豊かさと経験の深さ。そういうところに彼(息子)の存在の本質があるような気がする。

(福島) そうですね。何か知識を覚えたところで、それ自体は手段であって死んでしまえば終わりですよ。やっぱり感情的な心の交流で豊かな、やわらかく、ゆるやかに感じるか。逆の人はどんな天才でも無味乾燥な人生ですよ。

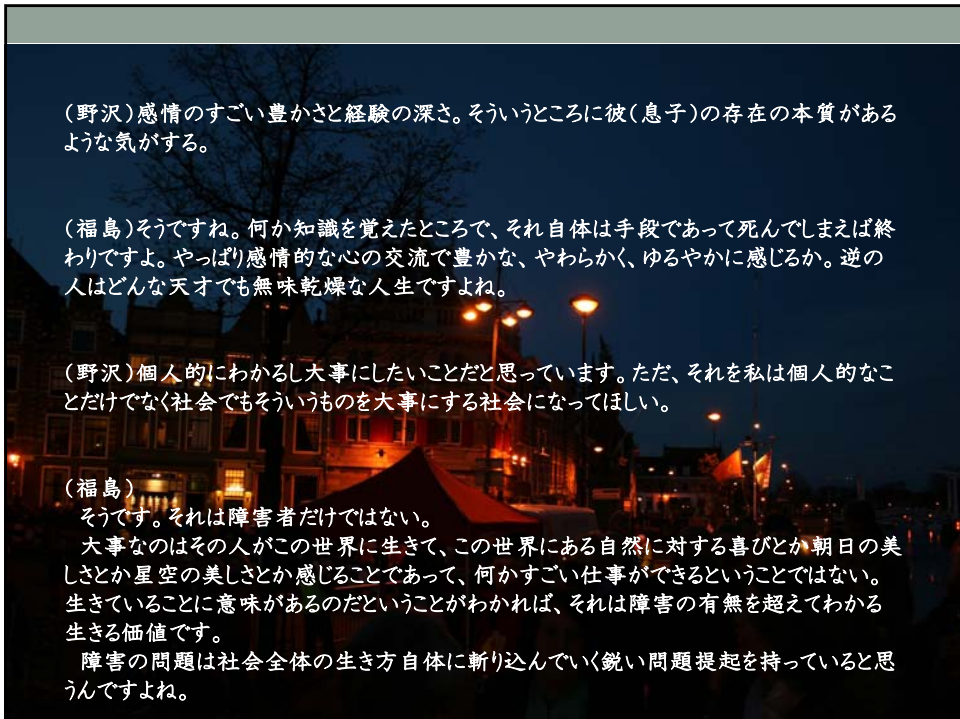
(野沢) 個人的にわかるし大事にしたいことだと思っています。ただ、それを私は個人的なことだけでなく社会でもそういうものを大事にする社会になってほしい。

(福島)

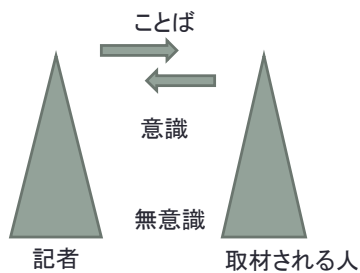
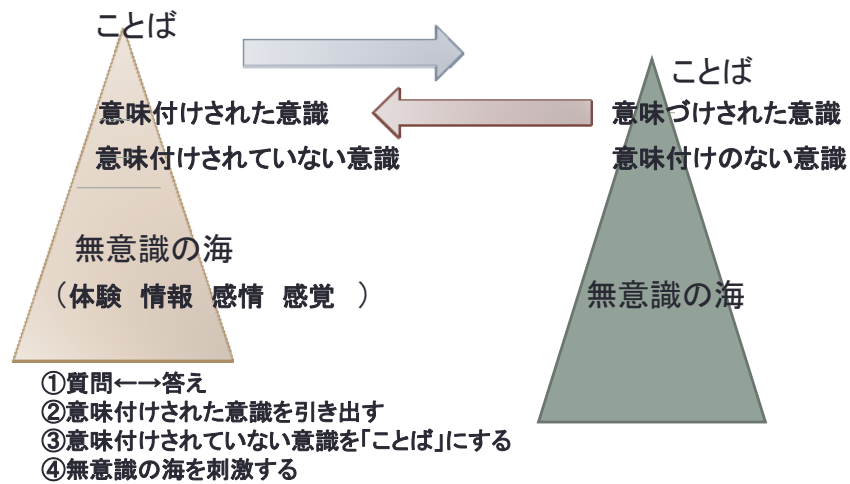
そうです。それは障害者だけではない。

大事なはその人がこの世界に生きて、この世界にある自然に対する喜びとか朝日の美しさとか星空の美しさとか感じることであって、何かすごい仕事ができるということではない。生きていることに意味があるのだということがわかれば、それは障害の有無を超えてわかる生きる価値です。

障害の問題は社会全体の生き方自体に斬り込んでいく鋭い問題提起を持っていると思うんですよね。



取材する



- ①取材する 相手の内面(人生)にcommitする
- ②無意識⇒意識⇒意味付け⇒ことば <発酵>
- ③ことばを記者の内面に落とす commitされる
- ④記者の無意識⇒意識⇒意味付け⇒ことば <発酵>

日本人夫婦

渡米し「代理母出産」

国内在住で初、成功し帰国

【東京電】日本人夫婦が、米国の代理母出産に成功し、国内在住で初、成功し帰国した。夫婦は、米国の代理母出産に成功し、国内在住で初、成功し帰国した。夫婦は、米国の代理母出産に成功し、国内在住で初、成功し帰国した。

実子届け出

【東京電】日本人夫婦が、米国の代理母出産に成功し、国内在住で初、成功し帰国した。夫婦は、米国の代理母出産に成功し、国内在住で初、成功し帰国した。夫婦は、米国の代理母出産に成功し、国内在住で初、成功し帰国した。

住吉「稲川」

最高幹部が出席

10日の聴聞会代理立てず

【東京電】最高幹部が出席し、10日の聴聞会代理を立てず。最高幹部が出席し、10日の聴聞会代理を立てず。最高幹部が出席し、10日の聴聞会代理を立てず。

1992. 4. 7

卵子の提供受け妊娠

日本人初のケース

40代夫婦の「実子で届け出」意向

他の8組も準備

【東京電】40代夫婦の「実子で届け出」意向。他の8組も準備。40代夫婦の「実子で届け出」意向。他の8組も準備。40代夫婦の「実子で届け出」意向。他の8組も準備。

カンボジア

「ミンペン」第2党

コンボンチャムでも人民



選挙区	得票数
選挙区	得票数
選挙区	得票数

1993. 6. 2

東大病院 ステロイド剤「適応外使用」

三つ子の胎児死亡

研修医が一人で注射

三つ子の胎児が死亡した。原因はステロイド剤の「適応外使用」だった。東大病院の研修医が一人で注射したことが原因とされている。三つ子の胎児が死亡した。原因はステロイド剤の「適応外使用」だった。東大病院の研修医が一人で注射したことが原因とされている。

家族が...

副作用で妊婦 植物状態

副作用で妊婦が植物状態になった。原因はステロイド剤の副作用だった。東大病院の研修医が一人で注射したことが原因とされている。

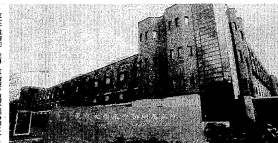
1996. 2. 4

名前も決めていたのに

東大病院・医療事故

三つ子の命奪われた父親
謝らぬ病院に怒り

妻は実験動物じゃない



三つ子の命を奪われた父親は、病院に怒りを覚えている。妻は実験動物じゃない、と訴えている。病院側は謝罪を拒否している。

一家3人焼死

90代夫婦と娘の住居で

横浜

散歩道

さんぽみち

散歩道。さんぽみち。散歩は健康に良い。散歩は健康に良い。散歩は健康に良い。



散歩道。さんぽみち。散歩は健康に良い。散歩は健康に良い。散歩は健康に良い。

2001. 1. 19